

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日 (14:00 ~16:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の計画なし	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	10	2	0	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	12	3	0	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	9	8	1	0	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	11	2	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用開始前、情報用紙で情報を確認するよう発信があり、個々に確認した上で疑問点や分からないことは随時確認している。また、ミーティングや会議で情報共有している。・本人がまだ慣れていない時期はできるだけ一人にしないようにし、周囲との関係性や環境に慣れていただくよう付き添いながら配慮している。・送迎時は必ず自宅での様子を聞いたり、利用時の状況を伝えるなどの関係作りに努めている。不安なことなどは傾聴し受け止め、事業所へ持ち帰り場合によっては話し合いの場を設けている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者様の生活状況、習慣を詳細に把握していない事もあり、場面や状況によっては利用者個々に応じた関わりが薄い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・サービス開始前には本人の生活歴や大切にしていること、習慣や生活状況を詳細に聞き取りをする。・サービス利用にあたり、どのような生活を望むのか聞き取りし共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	3人	人	14人

前回の改善計画	・過去・現在・未来、人・物・環境の視点でなぜなぜ分析をして、優先事項・量を選択し計画する力を身に付ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介護保険情勢、認知症介護関連、介護分野、社会資源について、情報を交換すると共に情報雑誌やインターネット、新聞記事などからも引用し、職員ひとりひとりが今必要と思う情報を提供し、日々のケアの関わり方の振り返りとし活用した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	10	6	0	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	10	5	0	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	11	3	0	18
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	11	6	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアプラン一覧のファイルがありいつでも職員が確認できるようにしている。 ・プラン実施記録をしており、変化や気づきがあった際は協議し、次のプランへ反映している。 ・サービス内容を5W1Hで具体的に落とし込んだ表現で、数値化し評価に繋げている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・業務優先の視点となり気持ちに焦りがあり、本人ができている、していることを介護者が介助してしまっている部分もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日々の関わりで、できることの強みを引き出し専門的視点で記録に残し共有する。 ・グループ会議や事業部会議で業務カリキュラム上の課題を引き出し必要に応じて業務カリキュラムの見直しをする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	2人	1人	人

前回の改善計画	・会議や申し送り時など限定せずに、いつでも課題やその時の疑問に思った点について場所を問わず、立ち会議で発言や分析する習慣をつける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様の体調や気持ちに変化がみられた際は、報告できる状況ができており情報の共有が習慣化している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	7	8	2	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	8	1	0	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	9	4	0	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	8	0	0	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	10	0	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・日々での気づきを報告し記録する流れができており、ミーティングや会議の場で観察期間を設け、ケアの確認や情報の共有をし一人一人のケア提供に繋げている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・自宅での生活状況の情報収集が家族環境(世帯や同居者との関係性)によってはこちらの問い掛けに答えてくれないこともあり、情報不足などところがある。また、家族が認知症への理解不足が感じられる。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・定期的な面談以外に送迎時、普段の状況や気づきなどを家族と情報交換し信頼関係に繋げる。 ・利用者と家族を支えていくための、認知症について伝える場を設ける。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	6人	0人	人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・本人を取り巻く地域資源について知り、地域での暮らしの継続を意識して必要なところに補う関わりをしていく。・地域資源を知る第一の段階として情報収集を強化する。例えば、テレビや新聞、黒石市のホームページや広報誌など閲覧する習慣を身に付け、日々の申し送りや事業部会議で取り上げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・地域資源についての知識を情報収集したが、本人を取り巻く地域資源の把握までには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	11	6	0	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	11	1	1	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	11	5	1	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	2	10	4	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・送迎時や月1回自宅へ訪問し、自宅での過ごし方、様子の確認や情報交換により把握している。・日々の関わりの中から得た本人の生活スタイルや人間関係等の情報を記録し職員で共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域の民生委員や地域資源の把握ができておらず、知識不足がある。・利用している地域の民生委員との繋がりが薄く、事業所からの関わりが不足している。・小規模を利用している時間が多く、今の生活のどの部分に必要で活用できる支援は何か情報不足がある。・家族へ確認し情報を得ているが把握できていない部分もある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・情報の把握に繋げる為、民生委員や社会資源についての情報を整理し専用のファイルで職員全員がいつでも情報を確認できるようにしていく。・利用開始時、民生委員の把握や情報交換をしやすくする挨拶にも努め情報収集する。(特に自宅で1人になる時間が多の方)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	1人	0人	人

前回の改善計画
 ・柔軟な支援について、家族のニーズ、利用者にとってのニーズ双方のメリット、デメリットを考え、家族や利用者に説明するようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・家族や本人のニーズに合わせ、「通い」から「訪問」に切替えるなど柔軟に支援している。介護者都合の泊まりについては事前に相談していただき、本人が継続してサービスを利用できるよう家族と情報交換し声掛けの配慮をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	10	2	1	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	11	2	1	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	10	0	0	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	9	0	0	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・家族の要望に添えるよう相談に応じ介護負担軽減や用事がある場合等、ニーズや状況に合わせたサービス調整を行っている。
 ・地域の小学校の運動会や音楽会、保育園の訪問行事などへ参加し交流を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・どのような地域資源があるのか情報の把握不足がある。又、今の生活のどの部分に活用が必要であるのか把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・ニーズに合わせた柔軟な支援をしていくため、日常生活の「できている・できていない」「分かる・分からない」「していない」ことを分析し利用者の支援して欲しいことを考え共有する場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00～16:00)

6. 連携・協働

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	6人	1人	2人	人

前回の改善計画
・地域との共生のための拠点としての意識を高め、地域の各種団体と一緒に活動できるようこれまでの活動継続と、更にイベント企画の計画を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地区活動の高齢者世帯の活動グループと連携し施設の開放をし訪問できる機会を設けている。
・福祉のしごとを知っていただくきっかけ作りと高齢者と子供が触れ合うイベントを実施している。
・認知症カフェを企画、運営した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	8	2	6	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	6	1	8	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	6	4	2	6	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6	9	2	1	18

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域交流納涼祭や地域の小学校の運動会の見学、ボランティア活動の受け入れ、町内会と合同で市のイベントであるよされ等に参加し地域住民と交流している。
・子供参観日を開催し、事業所へ訪れる機会を増やしている。
・地域密着型サービス事業者連絡会への参加や必要に応じて地域包括支援センターと連携を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・登録者以外の高齢者が事業所を訪れることが少なく、地域住民の困りごとや小さなうちからの関係性の構築が薄い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・介護について相談したい時や必要になった時、どこに行けばいいのかわかる事業所の周知不足がある為、今年度より開始した認知症カフェ等を通じ事業所について少しずつ知っていただけるよう取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

7. 運営

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	1人	2人	人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の意見に多くふれる場や企画を提案する。 地域での困りごとについて情報集約し事業所としての関わりについて話し合いをする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より認知症カフェ開催している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	5	6	5	2	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	8	2	0	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	7	3	0	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	12	1	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事業所の理念、重点目標、事項に関わる事例に対し勉強会を実施し事業所の特性をスタッフ間で共有できるようにした。 年1回サービスアンケート調査を実施し、サービスに反映している。 公式ホームページに「お客様の声」を設置し、意見、要望や苦情に対し適切な解決をし改善につなげ運営に反映している。 今年度より認知症カフェを開催し、地域の中の認知症ケアの拠点となるよう定着を目指している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 小規模多機能居宅介護としての開かれた関わりが不足しており、まだまだ周知されていない状況。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域のなかで必要な方にサービスが行き届くよう、定期的に地域医療連携室や地域包括支援センターを訪問し連携を図る。 地域の方に小規模多機能居宅介護(当事業所)の特性と強みを知っていただく機会を設ける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	8人	3人	1人	人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・職場外研修においては、基本個人レベルでの申請となっているため、職員間で週1回の更新日に情報交換し、自発的に参加意欲を高める仕組みを作る。・リスクマネジメント改善策の結果をグループ会議や事業部会議で振り返る時間も設ける。・地域密着型サービス事業者連絡会に参加している職員のみでなく、全職員が機能や話し合った結果等を周知できる場を事業部会議で作成共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・地域密着型サービス事業者連絡会について事業部会議等で内容を周知できていない状況がある。・リスクマネジメントの改善策については振り返りや改善策が周知できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	11	4	0	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	6	5	3	18
③	地域連絡会に参加していますか	4	5	3	6	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	9	8	0	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・事業所内での勉強会を企画、個人のスキルアップのための資料作成から勉強会開催まで実施できている。・事故ニアミスがあった際は、検証し情報共有している。集会の場で事業部の件数、内容について報告し周知を図っている。・リスクマネジメント委員会として、検証や制度に関する情報を会議、勉強会等通じチームと共有している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域密着型サービス事業者連絡会にまだ参加していない職員と参加はしているが、話し合った内容、結果について共有できていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・前回の改善計画が実施できていない状況のため、地域密着型サービス事業者連絡会に参加している職員のみでなく、全職員が機能や話し合った結果等を周知できる場を事業部会議で作成共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年8月16日(14:00 ~16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 介護主任、介護支援専門員、サービス計画策定ユニットリーダー、看護

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	3人	人

前回の改善計画	・ 成年後見制度を利用するにあたり、どんな人が対象になるのか、どのような支援を受けるのか等、利用している人がいるという仮定で勉強会をする機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 勉強会を実施できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	18	0	0	0	18
②	虐待は行われていない	18	0	0	0	18
③	プライバシーが守られている	16	2	0	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	2	5	6	18
⑤	適正な個人情報の管理ができています	16	2	0	0	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 行動の抑制や身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、認知症の勉強会を実施し、今年度は「不適切なケア」について演習を含め言葉の関わり方について振り返り、尊厳を意識したケアに繋げている。 ・ 尊厳に配慮しつつ、パーソンセンタードケアを実践し、その人らしい生活を送れるよう虐待や拘束のない支援をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 成年後見制度の利用対象者はいない。各自成年後見制度については学習しているが、詳しくは理解できていない。また、勉強会も行っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 前回の改善計画が実施できてない状況があり、成年後見制度についてどんな人が対象になるのか、どのような支援を受けるのか等、利用している人がいるという仮定で勉強会をする機会を作る。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 報徳会	代表者	中村裕可子	法人・ 事業所 の特徴	心の中に心を持ち、人に心を運び心を伝え、五つのわ（和、輪、我、笑、話）の調和を図る。
事業所名	黒石ケアサポート センター	管理者	中村公生		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	人	人	5人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認				
B. 事業所のしつらえ・環境	外からの侵入者に対応するための施錠の段取りの確認や、実際に侵入者があったことをみなした訓練や対応方法・緊急連絡の流れを計画する。	外部からの侵入者に対応するための設備対策設置し操作方法まで周知しているが、それに対する訓練は行えていない。非常時の連絡体制の流れは決まっている。	<ul style="list-style-type: none"> 警察や警備会社(アルソック)等に相談し外部からの侵入者に対応するための訓練を企画してみるとよい。 ダミーの防犯カメラ設置であれば予算がかからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回以上の避難、消防訓練に「不審者対策の訓練」を追加し計画していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源について具体的にどんなものがあるのか意見交換をふまえた勉強会を計画する。 地域資源の1つであるボランティアの受け入れをする計画を立て、実践、評価していく仕組みを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源について学習はできたが意見交換をふまえた勉強会は行えていない。 地域交流行事では高校生のボランティア活動を受け入れた。ボランティアのプロジェクトチームを構成し計画から評価していくことに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源のリストアップをまず作ることから始める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業部会議で権利擁護について学習会を実施する。 地域資源についてリストアップし共有していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み				
・ 運営推進会議を活かした取組み				
・ 事業所の防災・災害対策				

